

ほけんだより



2025年 6月 30日

町田市立南第一小学校

校 長 安東 深雪

養護教諭 新井 典恵

4月以降、保健関係の書類・尿検査など、提出物のご協力ありがとうございました。定期健康診断の結果が印刷された『定期健康診断の記録』を個人用封筒に入れて配布しました。結果確認の上、書類は家庭保管し、個人用封筒のみ学校へ返却してください。

身体計測 (2025.4月 学年・男女別平均値)

		身長 (c m)	体重 (k g)
1年	男子	1 1 6 . 0	2 1 . 0
	女子	1 1 5 . 2	2 1 . 1
2年	男子	1 2 2 . 6	2 3 . 7
	女子	1 2 0 . 4	2 2 . 6
3年	男子	1 2 8 . 2	2 7 . 7
	女子	1 2 7 . 0	2 6 . 4
4年	男子	1 3 3 . 7	3 1 . 3
	女子	1 3 2 . 2	2 8 . 8
5年	男子	1 4 0 . 4	3 5 . 1
	女子	1 4 1 . 3	3 4 . 5
6年	男子	1 4 5 . 9	3 9 . 9
	女子	1 4 6 . 1	3 7 . 6

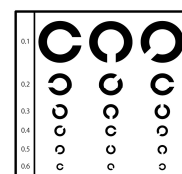


2年生以上は、発育バランスがグラフ化された「成長曲線」も封筒に入れました。

発育には個人差があります。学童期の成長・発育に影響をおよぼす食事・運動・睡眠に気をつけ、バランスよく発育することを心がけて生活しましょう。

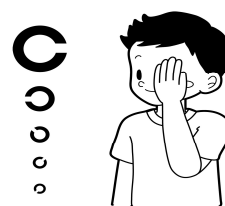
視力検査 (裸眼視力結果の人数)

⇒ 視力は **B以下** の児童に受診勧告しています。



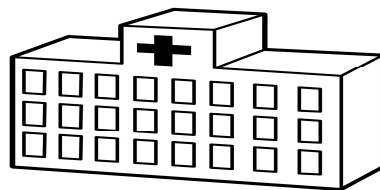
視力 受診勧告者数	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
	8人	19人	23人	36人	46人	41人	173人

視力低下の場合、医師による視機能診断・所見に基づいて、学校の生活や学習できるようにしましょう。
また、眼鏡による矯正視力が低く、度数適合していない児童がいます。矯正視力も定期的に検査しましょう。



校医健診・その他の検査（受診勧告者数）

内科 栄養状態・脊柱・皮膚	30人
眼科 結膜炎・眼瞼縁炎ほか	23人
耳鼻科 鼻炎・耳垢栓塞ほか	94人
その他 尿・聴力・心電図ほか	16人



各検査項目で校医所見があった場合は「結果のお知らせ」で通知しています。

特に内科・眼科・耳鼻科については、水泳指導参加の可否について、確認しています。

すでに診断されていて加療の場合は、その旨、保護者記入の上、報告書返信いただいています。通知を受けて、まだ、受診されていない場合は、早めに受診・治療をうけて、返信票を学校へ提出しましょう。

歯科健診



歯科は特に所見が見つからなかった場合も含め、全児童に「結果のお知らせ」通知しています。

	要観察	要受診
むし歯 （乳歯・永久歯）	37人	49人
顎関節	1人	1人
歯列咬合	69人	25人
歯垢状態	35人	0人
歯肉状態	14人	0人

今後についてのお知らせ

秋の臨時視力検査

1学期の視力検査B以下で受診勧告後、受診報告書の提出がない児童を対象に再検査を予定しています。詳細は、10月のほけんだよりに掲載します。

受診勧告され、医療機関での検査を受けてない場合は、早めに受診し、「受診報告書」を学校まで返信してください。



秋の臨時歯科健診

歯科健診の結果「複数本のむし歯」または「昨年度と同様の歯にむし歯その他の所見」がある児童で、9月末までに受診報告書未提出児童を対象に、歯科校医による再健診を予定しています。対象者には、個別通知をします。

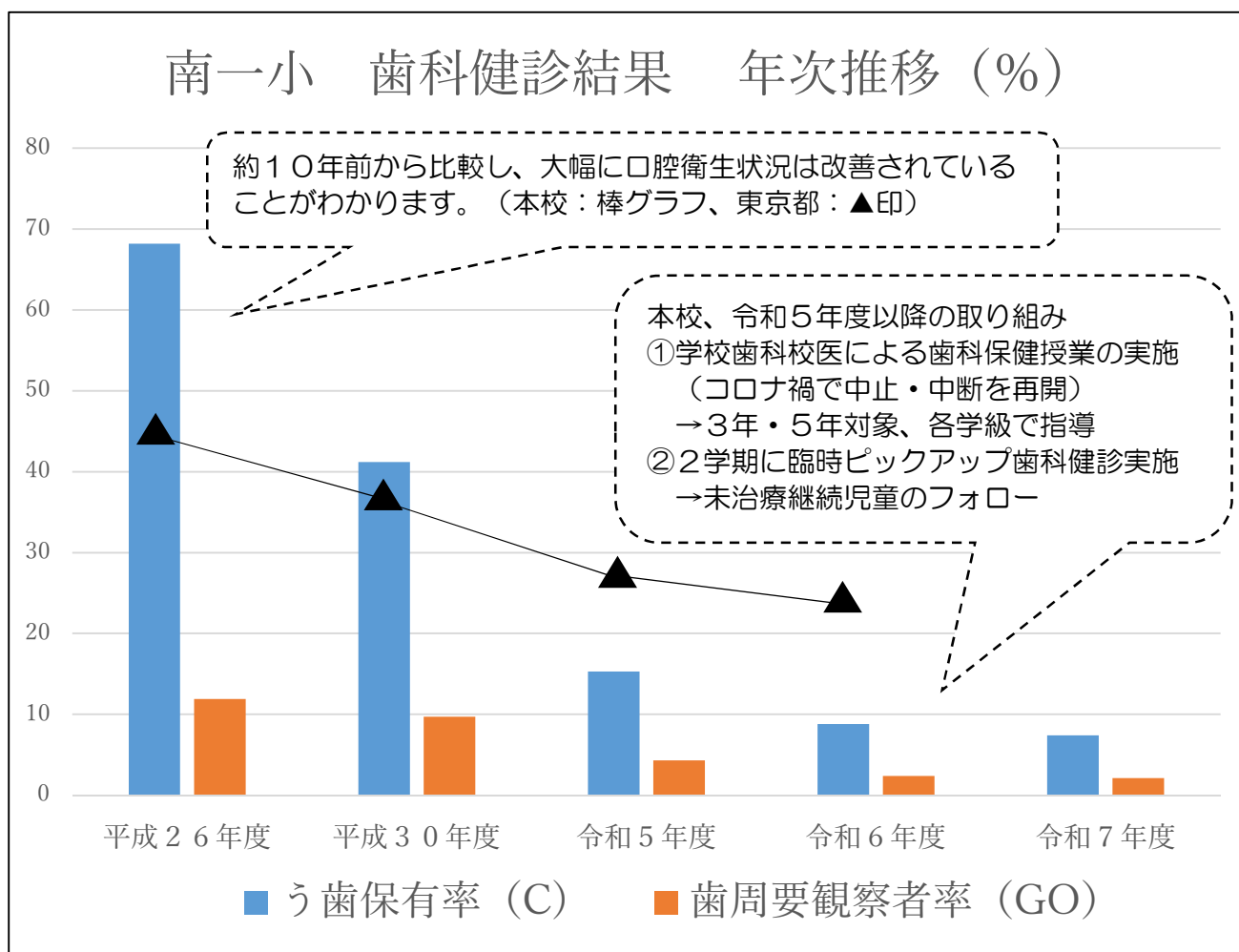
定期健康診断『結果のお知らせ（治療勧告）』通知後は、**受診報告書の返信提出で状況確認**しています。未返信の場合は、早めに報告書の返信をお願いします。

→ 9月までに返信確認できない（報告書未返信）場合は、再通知予定です。

歯科健診結果の年次推移より



本校学校歯科医の宮内先生は、本校在勤25年以上で、南第一小学校の子供たちの口の中の健康を長年見守ってくださっています。毎年、歯科健診には宮内先生の他に、応援医という形で市内各地域の歯科医師の先生も健診に携わってくださいます。ここ数年、宮内先生や本校健診の応援医を何度かしていただいた複数の先生方が、口をそろえて「南一小の子供たちの虫歯罹患や口腔状況、とてもよくなっていますね！」と健診所見をいただくため、過去のデータから歯科健診結果の年次推移をグラフ化してみました。（本校：棒グラフ、東京都：▲印 令和7年度未発表）



学校保健統計調査上、▲印の東京都小学生の「う歯被患（保有）率」も低下していて、経年的にう歯（むし歯）の減少傾向は続いています。本校では、平成26年度に東京都の率の1.5倍程だった「う歯保有率」が、平成6年度には東京都の1/2程に減少していて、歯科校医の先生方のおっしゃる所見が裏付けされることがわかります。

この地域、この学校、そして各御家庭の健康意識が向上し、子供たちの口腔衛生状況が改善されてきた結果といっても過言ではないでしょう。今後も地域・御家庭と協力をして、子供たちの健康意識の向上に結びつく教育活動の実践をしていきたいと思ひます。